

# ICT活用研修



東淀川支援学校 藤本良介

# 研究授業の参観、ありがとうございました。

- ▶ 12月8日(水)3限目に「数学」で実施
- ▶ 学習グループはC班、9名、高等部1段階
- ▶ 単元は「予算を立てて買い物リストをつくらう」
  - ▶ 12月1日(水)にも、本研修の事前ということで参観いただき、ご助言をいただきました。



# 授業の流れ

- ▶ 毎回、初めの15分は100マス計算に取り組んでいる。
  - ▶ 数学モードにするためのトレーニングとして導入。
  - ▶ 本単元と関連性、課題の難易度について助言あり。
  - ▶ 10分回答→5分答え合わせ  5分回答に変更
- ▶ 本テーマ（単元内容）へ

# 単元の目標は

- ▶ 買い物リストを作成し、予算との整合性をとる。
- ▶ 価格を通して数字と品物をより現実的なものとして結びつけて考える。
- ▶ 自らの価値基準に応じて購入する品物を取捨選択する過程を経験する。
- ▶ 自ら予算を立て、買い物リストを作成することができる。
- ▶ この後の展開として、家計管理についても触れる。
- ▶ 副次的に、タブレット端末の基本的な操作を習得して、道具として活用することを目標とする。

# 本単元に入るまでに

- ▶ チラシを見て、手書きで買い物リストを作る演習
- ▶ 作成した買い物リストの合計額を電卓で求める演習
- ▶ 電卓がない時の工夫として、概数を活用した計算演習

次	時	学習内容・学習内容	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
1	1	料理を作るための買い物リストを考える1 料理を募集して、その中から一つの料理を選び、必要な材料を発表する。	買い物リストを考える際、全員が1つ以上は発表できるように順番で回答を促す。発表の方法はホワイトボードへの買い込み・音声のどちらでも可とする。	A①②
	2	料理を作るための買い物リストを考える2 前時とは別の料理を選び、料理に必要な材料を発表する。	前時に続き、二つ目の料理を決定し、買い物リストを全員で考えて作成する。発表の方法はホワイトボードへの買い込み・音声のどちらでも可とする。	A①②
2	3	ネットスーパーで値段を調べて表計算ソフトに記録する1	文字入力にサポートのいる生徒には、教員による補助を行う。余裕を持って入力時間を確保する。机間巡視にて躓いている生徒に随時補助を行う。入力箇所の説明は全体と個別で	A②③ B①②
	4	ネットスーパーで値段を調べて表計算ソフトに記録する2	文字入力にサポートのいる生徒には、教員による補助を行う。余裕を持って入力時間を確保する。机間巡視にて躓いている生徒に随時補助を行う。	A②③ B①② C①
3	5	買い物リストの合計値について関数を使って算出し、電卓との違いについて考える	入力した買い物リストを元に、関数を用いて合計値を算出させ、電卓での計算との違いについて全員に発問する。	B③④
	6	設定された予算内に収まるよう買い物リストを作成する	教員が予算を設定して、予算内に収まるように品物を選ぶよう促す。随時、合計値を確認しながら進めるよう促す。	B②③ C②
4	7	自らメニューを設定して買い物リストを作成する	好きな料理を設定し、買い物リストを考えるよう促す。進捗に応じてネットスーパーなどを参照できるように環境設定をしておく。	C③
	8	自らの買い物リストと合計値を発表する。	それぞれのメニューと買い物リスト及び予算（いくらかかるか）を発表する場を設定する。	C④

# 授業の様子と デモンストレーション

# ICT活用のポイント

- ▶ 生徒たちがICT機器を日常生活で活用できる「道具」として捉えることがねらい。
- ▶ 表計算アプリケーション（Numbers）に慣れる。
- ▶ マルチタスキング（iPadの場合はsplit view）などの動作も繰り返し反復させて習得できるように、各演習に取り入れる。

ご清聴ありがとうございました。